

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野文化事業団							
①	指標名	主催(共催)事業チケット販売				目標値	完 売	実績値	完売(115本)
	過去の実績 (単位: 本)	平成14年度 完売・104	平成15年度 完売・114	平成16年度 完売・111	平成17年度 完売・115	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①アルテ友の会の会員数を引き続き8,500名以上確保した。 ②市民が安価で質の高い音楽を鑑賞できるよう独自招聘事業を31本実施した。 ③PR用チラシを独自に作成し、会員や顧客に定期的に送付した。 ④アルテ友の会会員を対象としてアンケート調査を行い要望の把握に努めた。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○アルテ友の会の会員数を維持し、独自招聘事業の実施や積極的な事業PRの結果9年連続で、主催(共催)事業のチケットを完売することができた。 ○今後も市民ニーズを把握しながら市民文化の振興を図るため、管理する施設の特徴を生かした事業を展開し、完売実績を続けていきたい。							
	二次評価	●文化事業団では主催または共催の事業について、18年度においても目標どおりチケットの完売を達成し、9年連続で完売を続けている。 ●アルテ友の会の会員数は前年度からやや減ったものの8,526名(市内2,740名、市外5,786名、17年度8,956名)の会員を確保している。 ●安価で質の高い独自招聘事業を実施したり、会員にアンケート調査を行うなどの努力により、完売を続けていることは高く評価できるが、別途、事業としての適切な目標を設定する必要がある。							
②	指標名	事業費支出の抑制(吉祥寺美術館、吉祥寺シアター分除く)				目標値	事業収入に対する割合を85%以内とする	実績値	88.1%
	過去の実績 (単位:千円)		平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	—	達成状況	未実施・ 未達成 ・達成
		事業収入①	276,299	324,926	246,037				
		事業費支出②	237,797	294,479	218,537				
		②/①	86.1%	90.6%	88.8%				
取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①質が高く市民に受け入れられる内容の独自招聘事業を格安で実施した。 ②事業の収益増を図るため、独自招聘事業を他の文化施設に売込むネットワーク事業を実施した。 ③オペラ等の共催事業を実施し、増収を図った。								
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○平成18年度事業収入 252,077千円 事業費支出 222,151千円と収入支出とも増加したが、収入の増加率が上回り目標値への達成は出来なかったが、抑制率は率で0.7%減少した。 ○独自招聘事業を他の文化施設に売込み事業収益を図るネットワーク事業の実施を今後も積極的に進めていく基盤が出来るとともに、文化施設間の連携も進んでいる。 ○今後も質の高い事業を安価で提供するため、独自招聘事業の充実を図るとともに事業経費の削減に努めていく。								
二次評価	●事業収入に対する事業費支出の割合を目標に設定しており、18年度は収入の増加率が支出の増加率を上回ったため、当初の目標を達成できなかった。 ●財務の目標としては、経費全体の何%の削減をはかるなどのように、達成度のわかりやすい目標をたてる必要がある。								
③	指標名	人材の育成				目標値	危機管理に対応するため、固有職員全員に3年間で上級救命士の資格を取得させる。	実績値	平成17年度に引続き3名に資格を取得させ合わせて6名が資格を取得した。
	過去の実績 (単位:名)	平成14年度 0	平成15年度 0	平成16年度 0	平成17年度 3	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①武蔵野市職員の必須研修として実施されている上級救命士講習に平成17年度に引続き3名を参加させた。なお、資格取得者は6名となり人材の育成は進んでいる。 ②AED(半自動除細動器)を事務所に設置している。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○危機管理に対応するため、平成17年度から計画実施し2年目の平成18年度も3名の固有職員が資格を取得するなど人材の育成は進んでいる。							
	二次評価	●3年間の計画を立て、順次、上級救命士講習の実施を行っている。18年度は、2年目として3名が講習を受け、資格を取得したことによって、当初の目標は達成している。 ●人材の育成としては、危機管理に関する講習を受けさせるだけでなく、幅広く必要な研修を計画的に行っていく必要がある。							